

JA多気郡は「農業所得の増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」に
全力で取り組んでいます



JA多気郡の取り組み 14

肥料・農薬予約購入(水稻・茶)大口奨励金の実施

50万円以上の予約購入者を
対象に供給額に応じて支払い

対象件数**61**件 奨励金額**387**万円
(平成29年度実績)



JA多気郡の取り組み 15

新肥料の開発

菜果の匠(JA多気郡オリジナル) 園芸化成480

- 15kg包装による労力軽減化



JA多気郡の取り組み 16

次郎柿の品質向上と販売強化

選果機の更新

落差ゼロの果実に優しい選果を実現
果実同士のぶつかりを防ぎ、高品質な柿の提供でブランド化を一層高めます
● 個包装による輸出拡大を図り海外PRへ ● 多気町ふるさと納税



JA多気郡の取り組み 17

加工・業務用野菜の拡大

担い手を中心に水田裏作提案

出荷作業の簡素化による負担軽減

- 農家所得向上

- 作付拡大の取り組み支援



JA多気郡の取り組み 18

えごま栽培

獣害被害に強く、中山間部栽培に適したえごま栽培

- えごま製品の販売拡充へ ● 搾油所新設、搾油機の新規導入



JA多気郡

自己改革の取り組み状況について



私たちのJA

国内には約1000万人のJA組合員がいます

私たちJAは、農家を中心とした組合員の営農と生活を守り高めることや、よりよい地域社会を築くことを目的に組織しています。農業を営む正組合員と農業者以外の准組合員が共通の願いを実現することを目指し、事業を利用しながら、組織を運営しています。

准組合員制度の意義…

准組合員の事業利用により、JAの経営が安定し、農業関連事業の実施や地域に必要な生活サービスの維持が可能となるなど、正組合員にとってもメリットがあります。まさに、正・准組合員が、JAの事業を通して地域の農業とくらしを支え合っていると言えます。

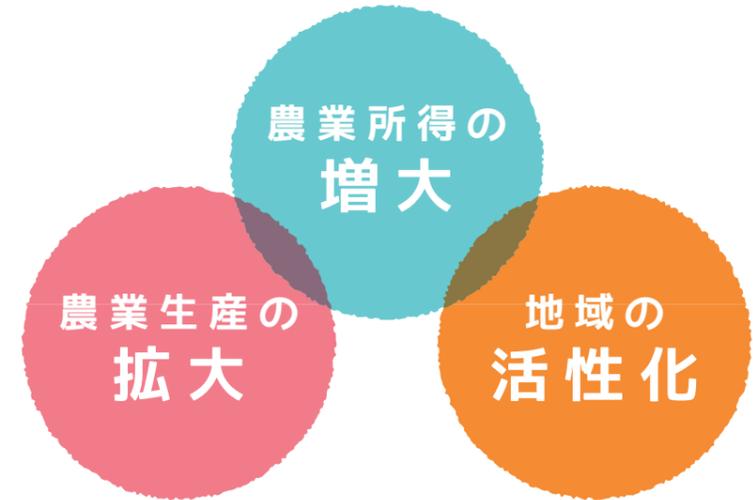
総合事業のご利用で、地域の農業が支えられています

JAでは、組合員の皆さまの営農やくらしに役立てていただけるよう、農業関連事業のほか、信用事業、共済事業、直売所事業、生活事業など様々な事業を行っており、これらを総合事業と呼んでいます。地域の農業にとって大事なJAの農業関連事業だけを見ると収支状況は厳しくはありますが、総合事業のメリットを最大限活かすことにより農業施設への投資や、組合員の営農をお手伝いする営農指導員の配置が可能となっています。

作って 食べて、地域の農業を次代につなぐ

JAでは、地域の子どもたちに「食」と「農」が持つ多様な役割を、農作業体験を通じて伝える「食農教育」を展開しています。また、直売所では、地元農家の朝採れ野菜や果物を販売して地産地消を推進しています。JAでは、こうした事業や活動に共感してご利用いただける皆さまとともに、地域の農業を応援していきたいと考えています。楽しく作って、美味しく食べていただくことが未来の農業につながっていきます。

協同の力で築く 「多彩な農業」と「元気な地域」



JA多気郡では、平成27年11月 第42回JA三重大会で掲げられた【協同の力で築く「多彩な農業」と「元気な地域」】を大きなテーマとして位置付け、平成28年度事業計画より中期3か年計画に「農業所得の増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」の3つを掲げ、自己改革に取り組んで参りました。これまでの活動内容や成果について主要な取組項目についてご報告いたします。

平成30年2月 JA多気郡



JA多気郡は「農業所得の増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」に
全力で取り組んでいます

JA多気郡の取り組み 01 営農指導事業

- 主食用米取扱数量の維持・向上
- 麦・大豆生産の確保
- 生産面積の維持(主食用米)
- JAによる農業生産の実践
- 営農指導体制の強化
- 農産物直売所への出荷支援
- 部会組織の更なる充実
- 米政策転換への取り組み



JA多気郡の取り組み 02 販売事業

- 地産地消を目指した地元米のPR
- 加工・業務用野菜の拡大
- 地域品目・ブランド品目野菜の維持・拡大
- 農産物直売所の充実
- 地元食材を活かした自然の味処すまいる(食堂)
- 茶・畜産の安定経営



JA多気郡の取り組み 03 生産購買事業

- 農業生産コストの低減
- 生産資材の利用拡大と農業廃棄物の適正処理



JA多気郡は「農業所得の増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」に
全力で取り組んでいます

JA多気郡の取り組み 04 信用事業

- 生活メインバンク機能の強化
- 利用者目線でのサービス提供
- 営農経済部門との連携による融資体制の強化
- 住宅ローン・マイカー・教育ローンの拡充



JA多気郡の取り組み 05 共済事業

- ひと・いえ・くるまの総合保障実現
- こども共済の提案と、こどもくらぶ会員拡大
- 農業者への保障提供
- 交通事故対応の顧客満足度向上
- 台風被害等による平成29年支払実績
(多気郡管内313件 9,051万円) (平成30年1月17日現在)



JA多気郡の取り組み 06 生活福祉事業

- 季節商品、健康機器商品の提案
- ふれあい歌謡ショーの開催
- 介護高齢者を支え合う地域づくり
- シルバーセンターすまいる



JA多気郡は「農業所得の増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」に
全力で取り組んでいます

JA多気郡の取り組み 07 生活指導事業

- 女性部活動の充実
- 助け合い組織「にじの会」活動強化
- 健康管理活動の増進
- 次世代へと繋ぐ環境問題への取り組み
- 健全な食と農を地域につなぐ活動



JA多気郡の取り組み 08 葬祭事業

- 虹のホール多気・明和、自宅葬
- 年中無休、24時間対応



JA多気郡の取り組み 09 燃料事業

- 選ばれるサービスステーションづくりへ
- 最新ガス器具の提案



JA多気郡の取り組み 10 農機自動車事業

- 安全確実な点検整備の実施
- 新商品、新技術の紹介と提案



JA多気郡は「農業所得の増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」に
全力で取り組んでいます

JA多気郡の取り組み 11 農産物直売所スマイルの強化

農業者と消費者のつながる直売所を地産地消の拠点と位置付け、地域の多種多品目な農産物の生産者と地域をつなぐ役割を担い、農産物・食に対するイベントにも積極的に取り組んでいます。

スマイル研修の内容

「多彩な野菜づくり」の推進による新規栽培農家と販売アイテムの増加を図ります。
また、端境期への栽培に向けたハウス栽培・品目提案を行います。



年間売上金額「50万以上」の出荷者数の推移



JA多気郡の取り組み 12 農業経営による農地の維持

平成29年から子会社

「(株)多気郡アグリサポート」を立ち上げ、担い手が不足する地域の農地を中心に、JA自らが農業経営に取り組み、農地維持に努めています。

水稲・伊勢いも・白ネギ等を中心に作付けしています。

主な事業内容

- 農畜産物の生産販売（農業経営）
- 農作業の受託及び請負
- 農地中間管理事業への斡旋
- 新規就農研修者受け入れ



JA多気郡の取り組み 13 主食用米取扱数量及び取扱高の維持・向上

部会員単位で行っていた研修会を米生産者全戸対象へ

- 兼業農家が多数参加の中、開催
- 土壌診断による土づくり
- 試験実証圃の設置により天候に左右されない米づくり

「営農センターだより」を毎月配布

- 情報発信や訪問活動の実施

担い手 品質向上・作期の分散

- 需要の高い業務用米の作付を試験的に実施